

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する

有利子負債残高
3,054億円

コア営業利益
560億円

GSP地位確立目標
2033年

2 中長期の経営戦略

1. 売上収益の拡大

基幹3製品（オルゴビクス、マイフェンブリー、ジェムテサ）の北米での早期価値最大化と、日本での注力製品の価値最大化を推進

3. 事業構造改善

再生・細胞医薬事業の再編による住友化学、RACTHER、S-RACMOとの連携体制構築。アジア事業、フロンティア事業の再編

2. 将来の成長シーズ確保

がん領域のenzomenib、nuvisertibに資源集中。精神神経領域ではRACTHERAと連携し、iPS細胞由来製品の実用化を推進

4. 財務体質改善

借入金のリファイナンスによる財務環境の安定化。当面は財務体質改善を優先

3 対処すべき課題

① 経営環境の厳しさ

- ・2023年度の多額損失から構造改革で黒字化達成も、依然として厳しい経営状況継続
- ・2024年度業績に一過性収益含まれており、実態としては課題が残存

② 研究開発投資の効率化

- ・研究開発の成功確度向上に取り組む必要性
- ・2030年代収益を支える優先品目の選抜と次フェーズ移行推進

③ 既存製品の競争環境

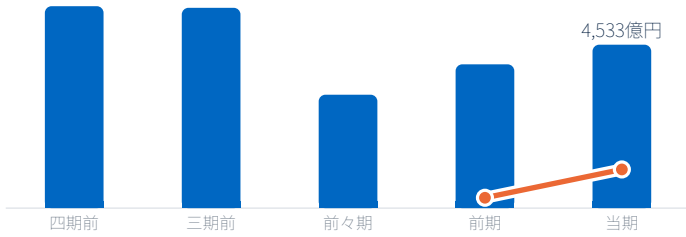
- ・ジェムテサはジェネリック参入により販売量減少見込み
- ・エクメットは2025年度に独占販売期間終了予定

面接で使えるポイント

- ・精神神経領域およびがん領域を重点疾患領域として、医薬品と再生・細胞医薬等多様なアプローチで貢献
- ・2025年度を研究開発型ファーマの真価を示す年と位置付け、enzomenib、nuvisertibに資源集中
- ・RACTHERAと連携した世界初のiPS細胞由来製品実用化を目指すゲームチェンジャー戦略を推進

証券コード 4506

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,533億円営業利益率
23.7%財務健康度
44点 / 100点

要するに
医療用医薬品の製造および販売を主力事業とする医薬品企業

主力事業・セグメント

- ・North米州 74.5%
- ・日本 20.4%
- ・アジア 5.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高4,533億円の事業規模
- ・営業利益率23.7%と高い収益性
- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 58.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
906万円

医薬品内 31位/80社

平均年齢
44.5歳

医薬品内 39位/80社

平均勤続
18.9年

医薬品内 3位/80社

女性管理職
15.4%

医薬品内 26位/41社

男性育休
100.0%

医薬品内 5位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

